



# 学校だより

## 12月号

令和5年11月30日  
横浜市立三ツ沢小学校

笑顔とともに 天高く舞い上がったバルーン 一人ひとりの思いを乗せて  
～笑顔かがやけ！90周年感謝祭～

校長 高木 伸之

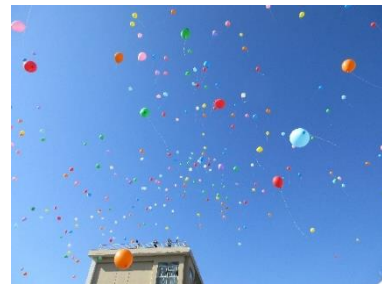
令和4年度、本校90周年の実行委員会が 七海 雷児 委員長を中心に組織され、学校の誕生日を祝う計画が歩みを始めました。

羽子板を作って平沼記念体育館に展示した6年生、写真をテーマとして神奈川スポーツセンターに展示したり、学校の模型を作ったり、モニュメントを何とかしたいと、数十年前の先生、瀬尾清寿先生、佐々木隆先生にそのころの思いを聞き、新しいモニュメントを作ったりした5年生など、全ての学年で生活・総合の学習を軸に、子どもたちの思いがひとつ一つになっていきました。90周年記念マスコットの「三ツ沢きょうだい、みっちゃん、ざわくん」も5年生の提案により全校の投票で決まり、90周年のステージも整いました。その5年生は今、最高学年となりました。

本年度、5月には「みっちゃん・ざわくん」のマスコットをデザインした航空写真を撮影しました。9月には、90周年記念人権集会「梯 剛之ピアノコンサート」を開催し、「皆んな おいで」の70周年記念ソングを全校で歌いました。「70」のところを「90」に変えて歌い、意識も高まりました。10月の運動会は、今年限りで「はばたけ！90周年三ツ沢運動会」というテーマで取り組みました。5年生は綱引きの退場時に大きな横断幕を、6年生はソーラン節の最後にこれまた大きな旗を掲げてくれました。

そして、11月24日（金）に「笑顔かがやけ90周年感謝祭」を迎えました。

2年間かけての90周年への取組は、子どもたちの三ツ沢小学校への思いをより確かなものにしてくれたことと思います。実行委員の方も折鶴アートを作成していただいたほか、記念品、バルーンのお世話等で、イベントを盛り上げてくださいました。委員会の子どもたちもSDGsを意識して、キャップアートをつく



ってくれました。記念誌の作成も進み、今回の感謝祭の様も含めて、後日、発信させていただきます。記念誌には5年生の児童が特集ページを担当してくれています。

子どもたちをはじめ、三ツ沢小にかかわるすべての方々が、それぞれのお立場で、一生懸命アイデアを出し合い、自分のできることを 快く実践していただき、その一つ一つが見事に結集し「笑顔かがやけ！90周年感謝祭」当日を迎えられたと思っております。

三ツ沢小学校は、地域の皆様に支えられて子どもたちの豊かな学びが実現している学校です。皆様の深いご理解、ご協力に心より感謝を申し上げます。今後とも、「みとめ合い、つながり合い、ささえ合い、わたしたちの未来を創ろう 三ツ沢の子」という学校教育目標に向かって、子どもたちを軸に地域、保護者、教職員、共に力を結集して進んでまいります。

当日2部のバルーンが、三ツ沢小に集う皆様の笑顔とともに、90周年を祝う思いを乗せて天高く舞い上がった光景をしっかりと心に刻み、100周年につなげていきたいと思っております。